

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2022 年 12 月 27 日
事業所名： 夢門塾ゆうゆう神辺

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	4	0	・部屋が仕切られているため死角がでやすいが、時間ごとに使用する部屋を決め、職員同士声を掛け合っている。
	②	職員の配置は適切である	5	4	1	・急遽お休みの場合には、他事業所から応援に来てもらえるよう要請し対応している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	8	2	0	・事業所内、使用したおもちゃ、送迎車内の消毒(乗車時には手指消毒)は徹底している。 ・施設内、送迎車の換気も行っている。出ていない職員にはその都度声かけをする。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	4	0	・動きはできているので、習慣化していきたい。 ・行事企画書を活用し、話す機会の少ないパート職員も共有をしている。 ・企画書をもとに振り返りの時間を設け、全職員が確認するようにしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	8	2	0	・毎年12月に保護者様にアンケートにご協力いただき、回収後には職員間で情報共有や改善点を話し合っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	4	0	・管理者が評価表をまとめて、提出している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	9	1	0	・細かくできていると思う。 ・事業所内研修(利用者情報・環境整備など)を実施し、支援の方向性を考えたり、業務についての共通認識を図っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	8	2	0	・ご利用者様、保護者様の立場になって聞き取りや計画書作りをするよう心がけている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	8	2	0	・その日の動きや、職員配置など、打ち合わせも確実に行っている。 ・安全に楽しく活動できる内容を話し合い、実施している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	8	2	0	・書き初め、音楽週間(いろいろな楽器に触れる)など、新しい行事を企画し好評だった。 ・遠出の外出は控えていて室内レクリエーションや近所の公園あそびが多いが、内容や公園を変えるなどして、飽きないように工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	3	0	・放課後は「〇〇週間」を設けて、曜日対抗でゲームに参加できるようにしている。 ・土曜日・祝日・長期休暇については、毎日行事を企画している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	3	0	・当日利用のお子さまをイメージしてできている。 ・下校時間がバラバラなため、時間や職員配置を確認したうえで個別活動(少人数)を実施することもある。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	0	・情報共有がしっかりできている。 ・不在の職員を書きだし、学習・おやつ・運動・行事進行役など、担当を決めている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	0	・ご利用時の様子を提供記録に残し、その中でも特に留意すべきことはコピーを取り、職員共有ノートを活用し共通認識を図っている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2	0	・期限までにモニタリングを実施し、個別支援計画書の作成をしている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2	0	・「運動・学習・生活」の三本柱を中心として、創作活動や命を守る学習(災害・不審者への対応)も取り入れ、企画・資料作りなど行い実施している。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2	1	・言動が気になる利用者様については、送迎時に学校での様子を尋ねたり、支援会議に参加し情報交換をしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	6	4	0	・保護者様や相談支援専門員からの聞き取り、情報の共有をしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	5	4	1	・定期的に、相談支援専門員に夢塾での様子を伝え、情報共有をしている。 ・障がい福祉サービスへ直接連絡をしたことはない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	5	0	・児童発達支援センターと情報共有をし、お互いに気になることや今後の見通しについて話ができるようになってきている。 ・研修などは受講していないが、今後開催されるならぜひ参加してみたい。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9	1	0	・連絡ノートやコドモンにて、その日の様子を伝えている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	8	2	0	・契約時にお伝えはしているが、相談や気になった時には、管理者へご連絡をいただくようにしている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	4	0	・相談があった時には保護者様の気持ちに耳を傾け、共感しながら今後についてや事業所の対応についてお伝えするように心がけている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	5	5	・コロナ感染症対策として開催を先延ばしにしているのが現状ですが、たくさん声をいただくので、引き続き感染対策と人数制限(少人数)などの工夫をし、開催できるよう検討します。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1	0	・ご相談やお話がある場合は管理者へ報告し、管理者からご連絡を差し上げるようにしている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	9	1	0	・月間利用表をお渡しする際に、夢通信(月間行事表)、夢だより(活動内容報告)、スポット利用のご案内も一緒に配布している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	8	2	0	・鍵付きの書庫に保管し、不必要時や退勤時には必ず施錠している。 ・写真の使用についても、充分留意している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	0	・発達段階にあった伝え方、話し方をするようにしている。 ・保護者様についても、状況に応じた伝達方法を工夫している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	3	4	・地域の行事への参加はないが、年に数回お会いしてお話をしたり、地域の施設をお借りして行事を行うことがある。ご協力いただく事もある。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	9	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	9	1	0	・年2回の消防避難訓練のほか、水害についての学習も行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	0	・会社が実施する「虐待と身体拘束の防止」研修のほか、研修機会があれば参加するようにしている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2	3	・身体拘束の該当者はなし。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	4	1	・投薬をする場合には職員間で共有し、確実に投薬できるようにしている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	8	2	0	・ヒヤリハットの記入は少ないと思う。 ・職員間の共有ノートへの記入はできているので、ヒヤリハットの用紙への記入を心がける。